

第4章	教育機関	51
1	市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）.....	52
2	市川市教育センター.....	54
3	市川市立図書館.....	57
4	市川市公民館（社会教育課）.....	65
5	市川考古博物館.....	68
6	市川歴史博物館.....	70
7	市川自然博物館.....	72
8	市川市少年自然の家.....	74

**1. 市川市生涯学習センター
(メディアパーク市川)**

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 (中央図書館)

TEL 047-320-3346(代表) FAX 047-320-3351



特色

市川市生涯学習センター(メディアパーク市川)は、市制施行60周年に合わせ平成6年11月、市民の生涯学習を支援する拠点として開館した。

本センターは、視聴覚資料・点字図書・大活字本など80万点を備えた「中央図書館」、グリーンスタジオ・ベルホール・資料室等を備えた文学と映像を活動の基盤とする「文学ミュージアム」、教育相談や研修が行われる「教育センター」、子ども達が遊びを通して感性や創造力を育てていく「中央こども館」、青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う「少年センター」がある。

「読む」「見る」「聞く」「学ぶ」「遊ぶ」が一箇所のできる、新しいタイプの生涯学習施設である。

沿革

- 昭和63年4月 中央図書館等複合施設建設検討会設置
- 63年7月 ワーキンググループ設置
(基本計画案検討)
- 63年10月 中央図書館等生涯教育センター建設準備委員会設置
「仮称メディアパーク市川建設基本計画」策定
- 63年11月 用地取得

- 平成元年7月 「仮称メディアパーク市川建築計画書」策定
- 元年10月 競技設計実施
- 2年7月 基本設計完了
- 3年3月 実施設計完了
- 3年12月 着工
- 6年6月 竣工
- 6年11月 メディアパーク市川開館

利用

○開館時間

- ・中央図書館
 - 火曜日～金曜日 10:00～19:30
 - 土・日曜日・祝日 10:00～18:00
- ・こどもとしょかん
 - 火曜日～金曜日 10:00～18:00
 - 土・日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・中央こども館
 - 火曜日～金曜日 10:00～18:00
 - 土・日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・文学ミュージアム
 - 火曜日～金曜日 10:00～19:30
 - 土・日曜日・祝日 10:00～18:00
- ・文学ミュージアム資料室
 - 火～日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・教育センター
 - 研修担当：月曜日～金曜日 10:00～17:00
 - 相談担当：火曜日～土曜日 9:00～17:00
- ・少年センター
 - 電話相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00
(木曜日のみ) 9:00～19:00
 - 面接相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00
 - eメール相談：24時間

○休館日

- ・月曜日
- ・年末年始(12/28～1/4)
- ・館内整理日(土・日を除いた月末)

施設

1. 概要

敷地面積 11,012㎡ 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造(地下1階、地上3階 一部4階建)
 建築面積 6,164㎡ 延床面積 19,647.79㎡ 総工費 125億 1,600万円

2. 施設案内

1階	中央図書館	5,943㎡	・開架フロアを一つにまとめ、小説・参考図書類を配架する ・収蔵能力100万冊 ・他に新聞、雑誌、ビデオ、CD、DVDを置く
	こどもとしょかん	468㎡	・児童図書及び児童文学研究に関する本をそろえる ・おはなし室、くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）
	中央こども館	1,655㎡	・遊びを通して子ども達の健全育成を図る ・造形スタジオ、プレイルーム、陶芸室、集会室
2階	文学ミュージアム	2,770㎡	・最大260名収容のグリーンスタジオ ・46人収容のベルホール ・文学、映像に関する企画展の開催・映像編集設備・文学研修室
3階	教育センター	2,198㎡	・教育関係者の研修会の実施、教育に関する研究 ・来所及び電話による教育相談や、不登校児童・生徒の教室の運営
	文学ミュージアム資料室	200㎡	・市川ゆかりの文学に関する情報、資料室
	少年センター	35㎡	・計画補導、地区補導を通して青少年の非行防止と健全育成を図る ・少年および保護者等からの相談業務
4階 地下1階 その他	機械室 駐車場 共有部分	6,510㎡	・駐車場99台 ・音楽スタジオ、集会室

3. 整備機能

地下1階

- ・音楽スタジオ
（1室はドラムセット・デジタルピアノを設置、5～6人演奏練習に利用可）

1階 中央図書館

- ・ポピュラーライブラリー
- ・レファレンスライブラリー
- ・レファレンスカウンター
（調べものの相談対応）
- ・ブラウジングコーナー
（新聞、雑誌の軽読書に利用）
- ・障害者サービス室
- ・AVコーナー
- ・インターネット（IT）ブース
- ・対面朗読室
- ・シニアルーム
（研究個室、拡大読書器設置）
- ・ビジネスルーム
（パソコン・電卓持込利用可）
- ・ヤングアダルトルーム
- ・資料検索コーナー
- ・ブックディテクション
（貸出確認システム）設置
- ・相互通話補助装置（フラットテーブル）整備

1階 こどもとしょかん

- ・おはなし室
- ・くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）

1階 中央こども館

- ・アスレティック・フォーリー
- ・光のトンネル ・遊環路

中2・3階

- ・閉架書庫（収蔵能力80万冊）

2階 文学ミュージアム

- ・グリーンスタジオ
最大260人収容、可動床により様々な催しができる多目的スタジオ

- ・ベルホール

- ・通常展示フロア

- ・企画展示室

- ・映像メディア編集室

- ・文学研修室

- ・アナウンスブース

3階 教育センター

- ・研修室4室 ・和室研修室

- ・コンピュータ研修室

- ・教育相談室

- ・和室相談室 ・プレイルーム

- ・ふれんどルーム市川

3階 文学ミュージアム資料室

3階 少年センター

2. 市川市教育センター

〒272-0015 鬼高1-1-4
 TEL 047-320-3335(研修担当事務室)
 047-320-3336(相談担当事務室)
 047-320-3345(少年センター事務室)
 教育センター行徳相談室
 〒272-0192 末広1-1-31
 TEL 047-318-3223

特色

市川市教育センターは、昭和36年に「市川市教育研究所」として設置された。昭和58年には「市川市教育センター」に改称し、機能を整備し拡充してきた。

平成6年11月に、市川市生涯学習センターの設置と同時に移転し、生涯学習の基礎を担う一端に位置づけられた。

主に市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修、学校の情報化に関すること、子供や保護者からの教育相談などを行っている。教育相談の内容は、子育てに関することから不登校など学校生活に関することまで幅広く、教育に関する経験と見識を併せ持つ相談員や臨床心理士が常駐している。

沿革

昭和36年 4月 市川市役所内に市川市教育研究所を置く
 昭和37年 1月 教育相談事業開始
 昭和38年 3月 小学3・4年生用副読本「わたしたちの市川」初版発行
 昭和48年 4月 教職員等研修事業開始
 昭和49年 4月 就学指導委員会条例施行
 昭和54年 4月 教育実践記録論文「いぶき」第1回募集
 昭和54年 6月 「教育いちかわ」1号発行
 昭和58年12月 南八幡5-20-3に移転、「市川市教育センター」と改称
 平成元年 公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業開始
 平成 6年11月 市川市鬼高1-1-4、市川市生涯学習センター3Fに移転
 平成 6年 適応指導教室開級
 平成 8年 文部省指定「学校図書館情報化・活性化推進モデル地域事業」～10年

平成11年 文部省・郵政省指定「マルチメディア活用学校間連携推進事業」
 平成13年 文部科学省指定「次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業」
 平成13年 文部科学省指定「学校図書館資源共有型モデル地域事業」～15年
 文部科学省指定「不登校児童生徒の適応指導総合調査研究委託事業」～14年
 平成15年 文部科学省指定「スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業」
 平成16年 文部科学省指定「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」～18年
 平成18年 文部科学省指定「学校図書館支援センター推進事業」～20年
 平成19年 きらきら体験留学事業
 平成21年 文部科学省委託「学校図書館の活性化推進総合事業」
 平成22年 文部科学省委託「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究」～23年
 平成22年 「ほっとホッと訪問相談」指導課より移管
 平成25年 文部科学省委託「学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」～26年
 平成25年 校内LANシステム、校務支援システム、ICT機器等の導入
 平成27年 教育支援委員会条例施行

- 文部科学省委託「学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究」～29年
- 平成30年 文部科学省委託「学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館利活用に係る調査研究」～令和元年
- 令和元年 5月 教育センター行徳相談室開室
11月 校内LANシステム 機器入れ替え
- 令和 2年 文部科学省委託「学校図書館の振興に向けた調査研究」
適応指導教室週5日開室

施設

市川市生涯学習センター 3階 2,233㎡
(通称 メディアパーク市川)

事業

(1) 学校情報化研究事業

情報活用能力育成のために、文部科学省より示された「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018～2022年度)」等を参考に、学校のICT環境整備を進めていく。

(2) コンピュータ教育振興事業

学習の基盤となる資質能力としての情報活用能力を育てる。

- ・情報モラル教育を推進し、情報技術を適切かつ効果的に活用する力、情報社会に主体的に参画しようとする態度を育てる。
- ・小学校では、情報手段の基本的な操作能力や、プログラミング的思考を育て、さらに中学校では、生活や社会における問題をプログラミングによって解決する力を養う。

(3) 学校図書館支援センター事業

市川市教育センター内に学校図書館支援センターを設置し、学校図書館へのさまざまな支援を通して学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の充実・強化を図る。また、学校の教育機能を高め児童生徒の「豊かな心」と「自ら学ぶ力」を育むとともに、生涯にわたって学び続ける市民の育成をめざす。

(4) 教職員等研修事業

市川市の教職員の資質・力量の向上を図るため、市川市、千葉県、国の教育施策をふまえ、教育の今日的課題や教職員のニーズに応じた研修を行う。

- ① 確かな学力と豊かな心を育む授業づくりの研修会
- ② 一人一人の子供を理解し支援していく研修会
- ③ 学校が現在直面している課題に対処する研修会
- ④ ICTを活用した授業づくり研修会

(5) 社会科副読本等製作事業

小学校における郷土に関する学習指導の在り方を研究するとともに、副読本「わたしたちの市川」(小学校3・4年用)及び指導解説資料等の作成をする。

(6) 教育広報活動事業

① 教育委員会広報紙「教育いちかわ」発行
市川市教育委員会の施策や新しい教育情報等を市民・保護者・学校関係者に提供し、理解と協力を求める。

② 教育実践記録論文集「いぶき」

教職員の日常の教育活動をまとめた論文を募集し、論文集を発行する。優れた実践を紹介し、市川教育の向上に努める。

③ 教科書センター

各種教科書を常設し、学習指導のための資料提供や教科内容の研究等を行うことができる。また、保護者、市民にも利用できるようにすることで、教科書や教科への理解を深める。

(7) 教育情報収集・提供事業

学校要覧、教育課程編成資料、研究紀要を収集し、各学校へ情報を提供する。

(8) 教育支援委員会運営事業

(市川市教育支援委員会)

特別の支援を必要とする幼児、児童生徒の適正な就園・就学及び転学に関し教育委員会の諮問に応じ調査審議するとともに必要に応じ建議する。

(9) 教育相談事業

①教育相談

市内在住の3歳以上の幼児、小学生、中学生とその保護者を対象に、子育てをしていく中で生じるさまざまな悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員等が保護者との面接相談やカウンセリングを行ったり、子供とのプレイセラピー(遊戯療法)を実施したりすることで悩みの軽減や解消を図る。

②ほっとホッと訪問相談

不登校をはじめとする子育て全般の悩みに対して、経験豊かな相談員が電話相談や訪問相談等を行うことで、児童生徒及び保護者の心の安定を図る。

(10) 適応指導教室運営事業

(ふれんどルーム市川)

心理的な要因等で不登校の状態になっている児童生徒に対して、小集団での活動を通じて自己肯定感を高め、集団生活への適応力を育む等、個々の児童生徒の状況に応じた必要な支援を行う。

(11) 補導員活動事業

非行の早期発見・未然防止のため、市が委嘱した160名の少年補導員と市川・行徳両警察署の協力を得て、実施計画に基づいた市内全域の補導活動を実施する。

(12) 少年相談事業

複雑化、深刻化する傾向にある相談者の悩みやニーズに対応できるよう、電話や電子メールから、面接相談や他の専門機関などへの適切な受け渡しに努め、相談効果を高める。令和元年度よりSNSを活用した相談窓口を実証実験として開設する。

(13) 社会浄化啓発活動事業

少年非行及び犯罪の発生予防を目的として、少年(青少年)に有害な社会環境の浄化・改善活動、少年の非行化防止活動、ネットトラブル防止出張授業など少年の健全育成のために必要な施策を行う。

(14) 少年センター運営協議会事業

教育委員会の諮問に応じて、少年センターの運営についての方向性等を審議する少年センター運営協議会を開催する。

3. 市川市立図書館

〒272-0015 市川市鬼高 1-1-4 (中央図書館)
TEL 047-320-3346 FAX 047-320-3351



図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関である。

本市の図書館の今後の目指すべき方向性については、平成26年度に「市川市立図書館運営基本計画」を策定しており、その評価を実施し公表している。本計画では、三つの柱の本に、7つの「施策の方向」を置き、それぞれに具体的な施策を位置付けている。

1. 情報拠点としての市民の学びを支える図書館
 - 1-(1).様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持
 - 1-(2).図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実
 - 1-(3).関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供
2. 子どもの成長をサポートする図書館
 - 2-(1).発達に応じた豊かな読書のための環境整備
 - 2-(2).公共図書館と学校等との連携の強化
3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館
 - 3-(1).市川市の歴史・文化の保存と継承
 - 3-(2).行政の情報拠点としての役割

沿革

昭和		
25年	9月	創立開館 市川小学校に併設（2教室）
32年	5月	葛飾八幡宮境内に移転して 独立館として新設
37年	5月	夜間開館実施
39年	3月	図書館設置条例の制定
	6月	徳願寺境内に行徳分館開館
43年	5月	八幡本館隣りに新館開館
50年	9月	移動図書館「みどり号」運行
54年	2月	信篤図書館開館、行徳分館を 行徳図書館に改称
55年	4月	行徳図書館、移動図書館を本 行徳公民館図書室に移転
56年	10月	行徳図書館、行徳支所4・5 階に移転して開館
58年	10月	南行徳図書館開館
60年	11月	電算システムを導入し、市内 5館をオンラインで結び、シ ステムによる貸出開始
62年	10月	平田図書室開室
平成		
元年	4月	行徳図書館、行徳支所隣に新 館として開館
6年	11月	市川市中央図書館開館
12年	10月	蔵書公開を開始
14年	11月	ウェブからの所蔵予約開始
15年	3月	自動車図書館車を圧縮天然 ガス（CNG）車に更新
17年	4月	「子どもの読書活動優秀実 践図書館」として文部科学大 臣表彰を受ける
18年	10月	宅配サービス開始
21年	4月	指定管理者制度を導入し、市 川駅南口図書館開館
23年	4月	中期計画を策定
26年	11月	中央図書館開館 20周年記念 行事を開催
27年	3月	運営基本計画を策定
28年	4月	赤ちゃんカード発行
	7月	行徳図書館にIC機器導入
	12月	大野公民館図書室蔵書管理 のバーコード化
31年	3月	西部公民館図書室蔵書管理 のバーコード化

令和

元年 11月 中央図書館・こどもとしょかんを IC 化、自動貸出機・自動返却機・予約受取確認機を設置
 行徳図書館に予約受取確認機を設置
 中央図書館・行徳図書館に予約受取コーナーを新設

施設概要

図書館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012		4,958		410	
建築面積	6,164		674	304	120	
延べ床面積	6,411	256	2,397.66	912.6	364	573.03
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上2階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上5階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下2階/地上45階(3階部分)
蔵書冊数(冊)	740,524	40,317	156,537	46,783	42,053	88,563
雑誌(誌) *1	319	33	104	36	37	41
CD(点)	12,855		7,475			
ビデオ(点)	370		7			
DVD(点)	1,957		408			1,013
開館時間	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～18:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 9:30～21:00 土・日曜日・祝 9:30～18:00
閉館日	毎週月曜日及び土・日曜日にかからない月末日・国民の祝日 年末・年始及び蔵書点検期間 ※ 中央・市川駅南口・行徳のみ祝日開館					
閲覧席(席)	358	20	185	30	16	61
駐車場(台)	(共有)99		(共有)69	(共有)20		
利用者端末(台)	(*2)23	1	7	1	1	(*3)8
職員数(女性)*4	33(18)	3(1)	9(4)	3(2)	4(1)	指定管理者制度
司書数(女性)*4	26(16)	1(1)	5(4)	2(2)	3(1)	指定管理者制度
交通手段(最寄駅)	京成曳越駅より徒歩13分 JR本八幡駅下総中山駅より徒歩15分	JR本八幡駅より徒歩10分 京成菅野駅より徒歩8分	東西線行徳駅より徒歩5分	東西線原木中山駅より徒歩2分	東西線南行徳駅より徒歩15分	JR市川駅より徒歩2分

- * 1 購入雑誌のみ。
- * 2 Web-OPAC・ITブース等を含む。
- * 3 外部データベース閲覧3台含む
- * 4 再任用職員を含む。令和2年4月1日現在

事業概要

(1) 資料の提供

市内に5館1室の施設を配置し、市川市在住・在勤・在学の者に対して、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料等多様な資料の提供を行う。各館をオンライン化し、できるだけ均質なサービスの提供に努めるとともに男女共同参画センター情報資料室等の類縁機関との連携や市内各所への返却ポスト12箇所の配置により、利便性の向上に努めている。

令和元年度に蔵書管理効率化事業の一環として進めていたICタグ添付作業は秋口には全館、関連施設ともに終了し、バーコードによる蔵書管理からICタグによる蔵書管理への移行準備が整う。

11月に、中央図書館・行徳図書館で自動貸出機・自動返却機・IC予約棚を設置。これに伴い、カウンターレイアウトを変更し、セルフ化されたサービスを中心に利用者への案内やPRを重点的に展開している。

(2) 資料収集

「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分類別収集基準」、各年度の「資料収集計画」という体系のもとで資料を収集する。選書にあたっては、中央図書館で毎週選書に関する会議を開催し、全館分の最終的な確認を行い、市川市全体で効果的な図書購入をしている。また、新刊購入だけでなく、既刊図書の買い替えや補充、復刊図書の購入などにも留意し、蔵書の適正な維持に配慮している。

①地域行政資料

郷土の歴史を後世に伝えるため、市川市に関する資料を中心に、千葉県内の郷土に関する資料を積極的に収集・提供する。又、市川市民の著作の収集に努める。

②視聴覚資料

CD・ビデオ・DVD等時代に合った記録媒体を提供するよう、幅広い資料収集と保存を行う。

③逐次刊行物資料

最新の情報を得られる速報性を踏まえ、市民の多様な興味・関心に留意し逐次刊行物(新聞・雑誌)の収集・整理・保存を行う。

(3) リクエストサービス

①リクエストサービス

利用者の求める図書が、図書館にない場合、貸出資料の予約や相互貸借、購入により提供するサービスである。

②国・県・市町村図書館との相互協力

リクエストされた資料が、市川市内の図書館に所蔵が確認できない場合、国立国会図書館・県立図書館及び他の市町村図書館等から、資料を取り寄せて提供するサービスである。

令和元年度は、県内市町村図書館への貸出冊数は4,102冊、借用冊数は4,847冊となっている。

(4) 自動車図書館サービス

図書館だけでは補いきれない地域の人達や身体に障がいのある方、高齢者等、図書館を利用しにくい市民のために運行している。車は圧縮天然ガスを燃料とする環境対策車。

令和元年度末の蔵書冊数は16,641冊、延べ利用者数は4,410人、貸出点数は、21,835点となっている。

(5) レファレンスサービス

探している資料が見つからなかったり、知りたい「人」や「事柄」についてどんな資料を調べればよいかなど、利用者の調査・相談の手助けをする。寄せられた質問とこれに対する回答の事例はデータベース化して蓄積し、ホームページ上で公開するとともに国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。

令和元年度の実績は61,280件となっている。



(6) 学校図書館支援センター事業

学校での「調べ学習」や「読書」を活発に展開させ児童・生徒の「自ら学ぶ力」を養い育てるために、公共図書館と学校図書館が連携し、児童の「調べ学習」や「読書」を支援している。図書館で学校図書館支援専用資料として約1万冊を中央図書館で管理し、通常の図書館資料と併せて提供している。

令和元年度においては学校よりの依頼件数は528件、7,486冊の貸出があり、その他に学級文庫用に4,360冊を提供した。

(7) 千葉商科大学附属図書館とのネットワーク事業

市内在住・在勤・在学の市川市立図書館利用者に、中央図書館で紹介状を発行することにより、千葉商科大学附属図書館の利用が認められる。この提携は、より専門的になってきた市民の要求に対応するため、市川市立図書館側が提案し大学側の理解を得て実現した。同大学は以前より公共図書館及び所属大学図書館の紹介があれば閲覧、複写のサービスを行っていたが、利用券の発行があれば貸出サービスも受けられる。

令和元年度の紹介状発行件数は142件。

(8) 和洋女子大学メディアセンターとのネットワーク事業

市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学メディアセンター(図書館)所蔵の図書を市立図書館(中央・行徳・信篤・南行徳・市川駅南口・平田)の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、希望する図書の書誌事項をリクエストカードに記入の上、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。

令和元年度、和洋女子大学より借用件数は5件(7冊)市川市立図書館よりの貸出件数は4件(8冊)。

(9) 公民館図書室

7つの公民館(西部・東部・曾谷・大野・市川・市川駅南・本行徳)に公民館図書室があり、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。特に、大野と西部を、市の北東部と北西部の図書館サービス拠点として定めて、バーコードによる蔵書管理とし、図書館システムのデータベースと一元化して

いる。

(10) 市民図書室

4つの小学校(塩焼・稲越・福栄・大柏)に市民図書室があり、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。平成12年10月より図書館端末を設置し、図書の貸出・返却・予約の拠点となり、連絡車が週2回巡回している。

(11) 児童サービス

児童サービスは、子どもたちが幼い頃から本に親しむことで、本から様々な興味を見いだし、本の世界の楽しさを知ることができるよう、子どもと子どもをとりまく大人に対してサービスを行う。

(12) ヤングアダルトサービス

中学生・高校生を中心とした世代を、Young Adult(若い大人)としてとらえ、児童書・一般書の枠にとらわれずに中学生・高校生向けの資料を集めたYoung Adultコーナーを中央・行徳・信篤・南行徳図書館に設置。中央図書館ではグループで調べ学習等の活動ができるYoung Adult Roomがあり、掲示板を置き、情報交換の場としても利用している。

(13) 障がい者サービス(図書館利用に障がいのある利用者へのサービス)

心身等、図書館を利用する上で何らかの障がいがある方に、それぞれの状況に応じた最も利用しやすいサービスを提供する。

(14) 返却ポストの設置

返却の利便性向上のために市内12ヶ所(市川市役所仮本庁舎・旧八幡市民談話室・情報プラザ・市川公民館・南行徳市民センター・歴史博物館・大野公民館・塩浜市民体育館・千葉商科大学附属図書館・イオン市川妙典店・中山窓口連絡所・ベルクス市川堀之内店)の図書館外施設に、図書と雑誌が返却できるポストを設置。令和元年度の実績は、約20万冊の返却があった。

(15) 外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現、さらに多文化を知りその背景を理解し共存していくことを目的にしているため、今後ますますその意義と必要性が求められているサービスである。その一環として、平成18年5月、大韓民国ソウル特別市江南区がインターネット上で運営している電子図書館のI D1万件の贈呈を受けた。

令和元年度主な言語別蔵書冊数は、英語7,175冊、中国語3,844冊、韓国語1,659冊その他の言語1,646冊となっている。

(16) リサイクルブック市

図書館の不用図書（除籍資料・寄贈資料のうち、すでに図書館で所蔵しているために受入しないと決定した資料）を有効利用するため市民に提供する。中央・行徳・信篤・平田・南行徳の各図書館で実施した。中央・行徳図書館では、市川図書館友の会の協力のもと実施。

また、中央図書館では、小・中学校図書室、こども館、放課後保育クラブ等の公の施設向けのリサイクルブック市も行っている。

令和元年度中央図書館リサイクルブック市の実績は、一般参加者1,067名、提供冊数9,210冊。



令和元年度統計

(1) 蔵書冊数 (令和元年度)

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,244	57	327	2,468	336	328	362	15,122
1哲学	22,846	209	736	3,552	1,028	648	741	29,760
2歴史	31,428	281	1,509	9,060	1,750	1,583	3,171	48,782
3社会科学	57,256	420	2,362	15,860	2,524	2,482	1,742	82,646
4自然科学	27,236	376	1,373	6,788	1,609	1,512	1,094	39,988
5技術	20,671	1,616	2,789	8,644	3,001	2,743	5,745	45,209
6産業	8,724	186	711	2,837	741	598	889	14,686
7芸術	35,564	407	2,077	9,373	2,509	1,603	2,900	54,433
8言語	9,345	54	396	1,936	451	338	562	13,082
9文学	50,654	6,357	8,742	29,039	10,439	8,359	7,442	121,032
郷土行政	53,533	0	408	3,862	581	568	497	59,449
参考資料	26,751	0	142	2,117	327	225	408	29,970
外国語資料	13,615	0	0	709	0	0	0	14,324
障がい者資料	9,402	234	0	600	0	0	0	10,236
コーナー別資料	268,656	0	4,426	23,246	8,901	6,047	48,414	359,690
一般計	646,925	10,197	25,998	120,091	34,197	27,034	73,967	938,409

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	440	32	97	271	179	76	102	1,197
1哲学	504	26	99	218	79	63	62	1,051
2歴史	4,439	101	497	1,588	435	534	468	8,062
3社会科学	3,998	112	490	1,540	370	498	489	7,497
4自然科学	8,458	536	1,271	2,717	1,023	1,359	1,259	16,623
5技術	2,772	279	438	1,135	375	470	585	6,054
6産業	1,601	85	234	584	160	260	255	3,179
7芸術	3,548	404	609	1,399	694	590	790	8,034
8言語	873	22	145	339	127	138	147	1,791
9文学	25,179	1,948	3,826	9,921	3,790	4,849	3,465	52,978
E絵本	35,430	2,751	6,345	15,227	5,025	5,842	6,508	77,128
P紙芝居	1,211	148	246	490	124	165	381	2,765
児童郷土	1,577	0	5	296	78	16	0	1,972
児童参考	784	0	17	158	49	27	85	1,120
児童研究	2,785	0	0	563	78	132	0	3,558
児童計	93,599	6,444	14,319	36,446	12,586	15,019	14,596	193,009

図書計	740,524	16,641	40,317	156,537	46,783	42,053	88,563	1,131,418
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	45,397	0	733	5,721	1,674	1,130	1,227	55,882
ビデオ	370	0	0	7	0	0	0	377
DVD	1,957	0	0	408	0	0	1,013	3,378
CD	12,227	0	0	7,332	0	0	0	19,559
その他付録等	777	0	8	100	2	3	49	939
図書以外計	60,728	0	741	13,568	1,676	1,133	2,289	80,135

総計	801,252	16,641	41,058	170,105	48,459	43,186	90,852	1,211,553
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(2) 分類別貸出冊数 (令和元年度)

(単位:冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	4,895	44	425	4,242	354	457	2,026	12,443
1哲学	22,477	198	1,133	12,127	1,769	1,641	8,021	47,366
2歴史	19,348	542	3,042	26,140	3,320	3,531	22,829	78,752
3社会科学	32,376	417	2,680	27,151	2,731	3,231	11,729	80,315
4自然科学	17,172	365	1,368	12,085	1,757	1,310	5,561	39,618
5技術	15,043	1,657	4,488	31,283	4,142	5,077	26,130	87,820
6産業	4,726	115	470	6,185	631	757	2,992	15,876
7芸術	18,571	262	1,465	13,538	2,420	1,622	9,767	47,645
8言語	10,916	87	423	4,278	660	454	3,471	20,289
9文学	20,710	5,533	9,295	61,124	10,673	10,250	37,129	154,714
郷土行政	3,501	3	100	583	162	86	996	5,431
参考資料	807	0	8	33	1	10	35	894
外国語資料	2,916	4	22	758	53	64	323	4,140
障がい者資料	6,077	114	14	598	12	18	230	7,063
コーナー別資料	489,946	1,205	16,497	127,497	31,226	21,492	193,836	881,699
一般計	669,481	10,546	41,430	327,622	59,911	50,000	325,075	1,484,065

(単位:冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	856	27	145	500	84	113	458	2,183
1哲学	1,257	30	129	603	70	71	439	2,599
2歴史	4,940	114	314	2,505	144	316	1,653	9,986
3社会科学	5,853	319	378	3,007	192	287	1,647	11,683
4自然科学	14,742	937	1,295	10,584	960	1,217	4,332	34,067
5技術	7,289	564	980	5,413	800	1,186	3,218	19,450
6産業	2,139	127	321	1,359	199	330	771	5,246
7芸術	9,302	970	910	6,270	958	773	4,157	23,340
8言語	1,303	45	185	1,006	94	99	534	3,266
9文学	59,911	3,251	5,633	40,011	4,110	4,366	22,055	139,337
E絵本	185,581	4,637	13,222	95,445	14,949	13,822	59,412	387,068
P紙芝居	6,592	177	383	3,292	182	412	2,414	13,452
児童郷土	893	0	2	63	5	4	6	973
児童参考	89	1	0	10	2	2	3	107
児童研究	728	0	19	222	23	16	102	1,110
児童計	301,475	11,199	23,916	170,290	22,772	23,014	101,201	653,867

(単位:点)

図書計	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
図書計	970,956	21,745	65,346	497,912	82,683	73,014	426,276	2,137,932
図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	41,140	67	2,729	20,955	3,287	5,189	10,524	83,891
ビデオ	540	0	2	41	3	10	30	626
DVD	12,015	0	118	2,430	105	137	3,799	18,604
CD	29,259	0	340	14,129	570	408	2,765	47,471
その他付録等	3,378	23	168	4,652	298	188	26,656	35,363
図書以外計	86,332	90	3,357	42,207	4,263	5,932	43,774	185,955

総計	1,057,288	21,835	68,703	540,119	86,946	78,946	470,050	2,323,887
----	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

(3) 市民図書館統計

図書館名	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
			一日平均			一日平均			
塩焼市民図書館	135	13,828	102.4	135	27,475	203.5	580	924	19,805
稲越市民図書館	131	2,296	17.5	131	6,616	50.5	294	252	16,027
福栄市民図書館	134	9,082	67.8	134	21,815	162.8	533	384	18,803
大柏市民図書館	130	5,729	44.1	130	6,247	48.1	230	482	17,253
計	530	30,935	58.4	530	62,153	117.3	1,637	2,042	71,888

4. 市川市公民館（社会教育課） 〒272-8501 南八幡 2-20-2 第2庁舎4階
TEL 047-320-3343 FAX 047-320-3344

1 公民館運営の基本的な考え方

少子・高齢化、情報化、国際化などの現代的課題解決の必要性和自由時間の増加等が相まって、市民の学習意欲は高まりを見せている。また、そのニーズもますます多様化、高度化を示している。

これら社会情勢の変化に応じて、地域住民の身近な拠点として学習の場と機会の充実を図ると共に学習情報の提供等にも努め、生涯学習の一層の推進に取り組む。

2 具体的な目標

- (1) 施設整備を行い、安全で快適に利用できる施設に努める。
- (2) あらゆる世代が参加しやすい主催講座の企画・実施に努める。
- (3) 生涯学習に関する情報の提供に努める。
- (4) サークルの学習成果の発表の場の提供に努める。

3 公民館講座情報紙（ミーティアムガイド）の発行

公民館主催講座の情報紙として、9月と3月の年2回、公民館主催講座の開催にあわせて発行し、講座内容の紹介および受講生の募集をしている。

新聞折込配布、公共施設・駅スタンド配布、タブロイド版、2色刷り。

4 利用案内

- (1) 開館時間 午前9時～午後9時
- (2) 休館日 毎月の最終月曜日、祝日
(祝日が日曜日の場合は振替休日の日)、年末年始(12月29日～1月3日)



菅野公民館（平成23年4月開館）

5 沿革

- 昭和27年5月 市川市公民館が開館
(現在の中央公民館)
- 昭和49年11月 西部公民館が開館
市川市公民館を中央公民館に改称
- 昭和53年9月 行徳公民館が開館
- 昭和53年10月 鬼高公民館が開館
- 昭和54年4月 東部公民館が開館
- 昭和55年3月 柏井公民館が開館
- 昭和55年4月 本行徳公民館が開館
- 昭和56年5月 市川駅南公民館が開館
- 昭和56年9月 大野公民館が開館
- 昭和57年4月 信篤公民館が開館
- 昭和58年5月 曾谷公民館が開館
- 昭和62年5月 若宮公民館が開館
- 平成元年4月 「公民館だより」発行
(翌年「カルチャーガイド」に改称)
- 平成元年5月 幸公民館が開館
- 平成2年5月 南行徳公民館が開館
- 平成3年5月 市川公民館が開館
- 平成7年10月 一部公民館にて月曜開館の試行開始
- 平成10年9月 公募により公民館の愛称を「ミーティアム」に決定
- 平成11年4月 公民館組織改正
(地域別に4ブロック制に)
- 平成12年4月 公民館使用料の単価を、午前・午後・夜の3区分から、1時間単位に変更
- 平成12年5月 インターネットによる公民館予約システム開始
- 平成13年3月 「ミーティアムガイド」(「カルチャーガイド」から改称)を発行
- 平成13年4月 公民館組織改正
(公民館センターの設置)
- 平成14年4月 行徳公民館に新館を増設
- 平成16年6月 中央公民館菅野分館が開館
- 平成17年4月 全館で月曜開館の実施
- 平成18年4月 夜間を管理委託から直営に
- 平成23年4月 菅野公民館が開館
- 平成25年4月 公民館組織改正
(公民館センターから社会教育課に変更)

- 平成27年10月 公民館使用料に、市民等以外の料金を新設
- 平成28年4月 施設使用料統一減免基準施行開始
- 平成30年4月 一部のレクリエーションホール等で面積2分の1利用のサービス導入

6 令和元年度の状況

公民館名	総利用者数 (人)	主催講座 (講座数)	令和元年度開催講座の例
中央	34,592	22	災害を知り、備える おうちで楽しむ紅茶の魅力 日本画の巨匠 横山大観 郷土 八幡町の歴史と発展
鬼高	20,688	16	はじめての仏像彫刻円空仏 親子でつくる蚊よけ香 初心者向けスマホで防災対策 美味しい減塩生活
信篤	64,466	17	東京2020おせっかい英会話 半日でできる布ぞうり 日本の香りを楽しむ「お香」 空海と四国遍路
東部	81,584	18	今日から見直す運動と食事 渋沢栄一の生涯 南極・北極の過去と現在 ジャズ喫茶コンサート2019
柏井	21,290	18	民話の里 柏井を訪ねて 子ども寺子屋「卓球教室」 神道・神社の歴史と房総 必ず役立つ相続対策の知識
大野	70,392	20	親子で楽しむキッズヨガ フラッシュ暗算で脳トレ 楽しいパンの時間 もうすぐプログラミング開始
若宮	21,952	15	江戸入門“江戸の災害” おとこだけの祭り寿司 わくわくキッズアカデミー スマートフォン活用術
市川	80,984	16	大人の模型づくり 楽しく学ぼう枕草子 防犯講座 詐欺の撃退法 写経にチャレンジ
西部	71,336	18	やさしい中国語会話 花火大会の前は～納涼寄席～ アロマハンドマッサージ 木目込みの干支
市川駅南	47,487	16	おうちで楽しむカフェ風ランチ 日曜日の朝ヨガ 令和に知る古き万葉の世界 水引細工で正月飾り
曾谷	96,334	21	いちから学ぶ資産運用 デジタルカメラ基礎講座 介護保険制度を学ぶ はじめてのオカリナ
行徳	137,439	31	すぐに始められる発酵食 ストレスマネジメント 房総黒船見聞記 終活 大切な家族のために
本行徳	26,540	16	行徳の魅力～神輿づくりと祭り 江戸時代の市川 脳トレ・筋トレ・シンプル体操 子ども書初め教室
幸	33,842	11	暮らしを飾る小さな植物 愛犬にマッサージ 知っておきたい介護の話 押し花でおひなさま
南行徳	76,511	16	やさしい日常英会話 薬膳「夏バテを防ぐ食の力」 わくわく科学発見 若返りのボイストレーニング
菅野	49,137	21	市川の歴史よもやま話 日本の美しいうたを歌う ピラティスで代謝UP 鉛筆デッサン 基本のキ
合計	934,574	292	

5. 市川考古博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-26-1
TEL 047-373-2202 FAX 047-373-2205



▲博物館全景



●博物館案内図

特 色

市川市は、原始・古代の遺跡が多く、しかも堀之内貝塚・曾谷貝塚・姥山貝塚・下総国分僧寺跡・下総国分尼寺跡など、国の史跡に指定されている遺跡を含んでいる。これらの遺跡から出土した考古資料によって、原始・古代の市川を中心とした地域の歴史の歩みを体系的に理解し、学べる考古専門館である。

生涯学習の時代の一翼を担う多彩な講座、体験学習、見学会などの実施によって、市川の歴史に対する認識を高め、郷土に対する愛着を深めてもらうよう努めている。

沿革

- 昭和47年11月 市立市川博物館として史跡堀之内貝塚の隣地に開館。
- 50年2月 登録博物館となる。登録第7号。
- 57年11月 市立市川歴史博物館の開館に伴い、館名を市立市川考古博物館に改称。
- 60年3月 常設展展示替えによる新装開館。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建（一部地階）
敷地面積 7,253.00㎡（うち駐車場 990㎡）
建築面積 931.80㎡
延床面積 1,513.68㎡

〔主な施設〕

ホール展示室 90.9㎡
常設展示室 387.2㎡

学習室 28.2㎡
収蔵室 346.5㎡

交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩10分
- JR総武線「市川駅」・京成線「市川真間駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅（国分経由）」行き、「聖徳学園」行きで、「堀之内3丁目」バス停下車徒歩5分、「博物館入口」バス停下車徒歩10分。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会（一部）による発掘資料と、個人から寄贈された考古資料などを収蔵している。

- (1)先土器（旧石器）時代関係
今島田遺跡、殿台遺跡
- (2)縄文時代関係
杉ノ木台貝塚、美濃輪台貝塚、上台貝塚、向台貝塚、今島田貝塚、姥山貝塚、曾谷貝塚、堀之内貝塚等
- (3)弥生時代関係
須和田遺跡、木戸口遺跡、後畑遺跡、国府台遺跡等
- (4)古墳時代関係
須和田遺跡、今島田遺跡、鬼高遺跡、杉ノ木台遺跡、法皇塚古墳等
- (5)奈良・平安時代関係
下総国府跡、下総国分僧寺跡、下総国分尼寺跡、須和田遺跡、国分遺跡等

事業

1 常設展示

過去10数万年間の自然環境の変化を導入とし、最初に住民がやってきてから律令社会が成立・崩壊していくまでの原始・古代の歴史を、市川を中心に展示している。

<展示内容>

○前室 環境の変化

過去10数万年の間でも自然環境は大きく変化していることを、貝化石、クジラ化石、サンゴ化石、地層模型などで紹介している。

○第1室 最初の住民<先土器時代>

原人、旧人、新人の胸像模型と、1万年以上も前の寒冷な時代に、主として狩りで暮らしていた人々の石器を展示している。

○第2室 貝塚の形成<縄文時代>

土器を使用した縄文人は、狩猟、漁労、植物採集で計画的に生活していたことを、豊富な貝塚の出土資料やジオラマにより複元。埋葬法、縄文人骨とその特徴などを実物や写真で紹介している。

○第3室 稲作文化の伝来<弥生時代>

朝鮮半島から伝来した稲作等の農耕とその文化が人々の暮らしを大きく変え、市川市に普及した様子を展示している。

○第4室 古墳の出現<古墳時代>

大和王権が各地を統一しようとした時代で、市川には6世紀半ばの法皇塚古墳がある。その出土品、当時の土器の土師器と須恵器、鉄やカマドの普及を紹介している。

○第5室 律令の社会<奈良・平安時代>

7世紀後半以降、律令を基にした中央集権国家が成立する。市川には下総国の政治の中心である国府と官立寺院の国分寺が置かれた。仏像、瓦、墨書土器、役人の服、伽藍模型や庶民にかかわる遺物を紹介している。

2 展示

企画展

- ・「大地からのメッセージ ―外環自動車道の発掘成果」 R1. 7/6～9/8

ホール小展示

- ・「指で組む一組紐『クテ打』試作展」 H30. 6/23～R1. 7/28
- ・「下総に咲いた華」 R1. 8/10～R3. 7/31

速報展

- ・「外環自動車道の遺跡 第8回 『雷下遺跡』」 H31. 1/5～R1. 9/8

表1 (令和元年度) 開館日数274日

入館者			外部サービス利用者			合計		
18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	総計
7,207	15,052	22,259	2,943	1,447	4,390	10,150	16,499	26,649

3 講座・説明会・体験学習・見学会など

行事名	内容
講座・講演会等	<ul style="list-style-type: none"> ○考古学教室 『続日本紀』を読む全6回 『日本霊異記』を読む全8回 「市川から発信する新たな縄文文化」 「下総国府の新発見」 「国分寺造営と北下瓦窯」 「国司館と後通遺跡」 ○企画展関連講演会 ○ギャラリートーク 企画展解説5回 速報展解説1回
体験・見学会・養成	<ul style="list-style-type: none"> ○博物館体験学習 土器をつくろう 全4回 勾玉づくり 3回 組紐づくり 22回 ○ナイトミュージアム 夜6時～8時半開館・音楽鑑賞 ○サマーフェスタ 堀之内貝塚ガイド：縄文文様体験・組紐 ほか ○オータムフェスタ 堀之内貝塚ガイド・火おこし・焼いも・組紐 ほか ○小学校体験学習 17校 1,583人 ○出前授業 7校 764人 ○バス見学会 「館山方面の史跡を訪ねる」

4 協力

春の真間史蹟まつり、曾谷縄文まつり、中国分小秋まつり、真間史蹟保存会講演、稲荷木小フェスタ、市川市史編さん事業

5 学生・教員研修

中学生職場体験7校22人、学芸員館務実習3大学3人、体験学習教職員研修会17回47人

利用

1 利用案内 ・開館時間 9時～16時30分

- ・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日 年末年始（12月28日～1月4日）

2 入館料 ・常設展・企画展は無料

3 利用状況(表1参照)

6. 市川歴史博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-27-1

TEL 047-373-6351 FAX 047-372-5770



第4室 台地の人々の生活のコーナー

特 色

原始・古代担当の考古博物館の後を受けて、市川における中世以降の歴史の流れを概観し、海・川・台地という地形を活かしたかつての市域の生活・生業を復元展示している。

本市の歴史民俗資料の滅失・散逸を防ぐため、これらを収集・保管・展示及び調査研究をして保護活用を図り、市民の郷土に対する認識と愛情が深まるよう努めている。

沿革

昭和 57 年 11 月 市立市川歴史博物館として開館。

12 月 登録博物館となる登録 17 号。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建(塔屋付)

敷地面積 3,388.04 m² 建築面積 1,199.16 m²

延床面積 2,001.57 m²

[主な施設]

常設展示室 430 m² 特別展示室 249 m²

講 堂 104 m² 収 蔵 室 234 m²

交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩 8 分
- J R 総武線「市川駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅(国分経由)」行き・「聖徳学園」行きで、「博物館入口」バス下車徒歩 10 分、ほか。

案内図は、2 ページ前の「考古博物館をご参照ください。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会(一部)による収集資料と、個人から寄贈された歴史・民俗資料を収蔵している。

(1)中世(鎌倉～戦国時代)関係

板碑、日蓮関係資料(複製)等

(2)近世(江戸時代)関係

高札、古文書、塩製造用具等

(3)近現代(明治～昭和時代)関係

古写真、戦争関係資料、学校関係資料等

(4)民俗関係

生活用具、農具、漁具、職人関係資料等

事業

1 常設展示

○前室

当館設置の趣旨及び、案内図を配して展示し、室内の配置と順路を示す。また、市内の特徴のある写真や鳥瞰図を展示し、景観的イメージを印象づけて展示室へ導入するとともに、新着収蔵資料等を紹介する。

○第1室 中世以降の市川

中世以降の市川の歴史の主要事項を理解してもらい、各ルームの年代的位置づけを行う場として、パネルと資料で紹介する。
展示資料：立正安国論(複製)、空襲日誌等

○第2室 海辺の人々の生活

かつては交通の要所で、関東地方最大の塩の生産地でもあり、近代以降は海苔の養殖が盛んであった、市南部の行徳、南行徳の地域は、住宅地として急激な変貌を遂げている。ここでは、海辺の人々の生活を再現し、現在との関わりについて考える場とする。

展示資料：製塩用具、のり抄き用具等

○第3室 水路と陸路

市川市の西側を流れる江戸川は、水路として交通や物資の運搬に重要な役割を果たしてきた。

一方、市内の陸路は、参勤交代や成田参詣への道などがあり、これらが江戸川と交わる場所に、市川関所と行徳新河岸があった。

ここでは、江戸時代を中心に示し、床面には市城の水路と陸路の概略を紹介する。

展示資料：往来手形（複製）、笹屋看板等

○第4室 台地の人々の生活

市の北部地域は下総台地の一画で、小さな谷津が入り込んだ地形をなしており、人々は谷津の泥深い田を耕して生活してきた。ここでは、民家の一部を移築復元して、土間を中心とした生活を再現し、さらに農耕と年中行事を組み合わせる事により、一年を周期とする生活を紹介します。

展示資料：稲作用具、辻切大蛇等

○第5室 郷土コーナー

郷土市川に関係した人物を「人で綴る市川の歴史」と題してまとめ紹介する。また市内の史跡や文化財についても紹介し、新着資料や季節の民俗資料を展示する。

展示資料：坪井玄道関係資料

2 展示

企画展

「発見・体験・昔の暮らし」

R1. 11/3～R2. 2/16

「館務実習展」

R1. 9/7～R2. 1/7

季節の展示 春、夏、冬

H31. 4/1～4/20、4/28～R1. 6/16、

R1. 7/6～8. 31、R2. 1/22～2/16

3 講座・説明会・体験学習など

行事名		内容
講座・講演会	○近代史講座	大柏村の近代文書を読む 10回
	○民俗学講座	市川市域の地誌を読む 4回
	○中世史講座	市川の中世古文書入門講座 3回
	○歴史カレッジ	市域の歴史と民俗 9回
	○歴史カレッジ 公開講演会	中山法華経寺紙背文書の世界 1回
体験・養成	○小学校体験学習	昔のくらし体験（出前型） 1回
	○昔遊び体験	昔のくらし体験（来館型）19回 紋切り、紙芝居など毎週土日、 七夕飾り1回、昔の洗濯体験1回、 正月飾り作り1回、 和綴じ本作り1回、
	○子ども歴史講座	歴史地図づくり1回、
	○サマーフェスタ	水鉄砲作り、塩のスーパーボール作り
	○ナイトミュージアム ○ボランティア講習会	妖怪絵や関係資料の展示、紙芝居 昔のあそび指導員養成 11回

4 協力

行徳公民館他 5 館、中国分小秋祭、市教科書副読本作成、市川市史編さん事業

5 研修

市内小中学校教員研修 2 人、中学生職場体験 5 校 17 人、学芸員館務実習 6 大学 6 人

利用 用

1 利用案内

- ・開館時間 9 時～16 時 30 分
- ・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日
年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

2 入館料

- ・常設展・企画展は無料。

3 利用状況（表 1 参照）

表 1 （令和元年度）開館日数 274 日

入館者			外部サービス利用者			合計		
18 歳未満	18 歳以上	計	18 歳未満	18 歳以上	計	18 歳未満	18 歳以上	総計
6,721	15,057	21,778	764	1,160	1,924	7,485	16,217	23,702

7. 市川自然博物館

〒272-0801 市川市大町284
TEL 047-339-0477 FAX 047-339-1210



特 色

市川市は、北部の台地と南部の低地、江戸川と東京湾などの自然環境に恵まれているが、現在は著しく都市化が進んでいる。市川の自然は都市化の中でかろうじて残されてきた自然と、市街地の自然によって特徴づけられる。

市川自然博物館では、こうした「市川の自然」を対象として、地域の自然環境や動植物について記録し後世に伝えるとともに、身近な自然環境や動植物とのつきあいかたを広く市民に伝え、市川市の自然を再発見することを博物館の使命としている。

一般に博物館には、資料収集や保存、調査や研究、教育普及や展示等さまざまな機能がある。当館では、資料収集や調査、研究等により得られた成果を生かした教育普及及び展示活動に主眼をおいている。

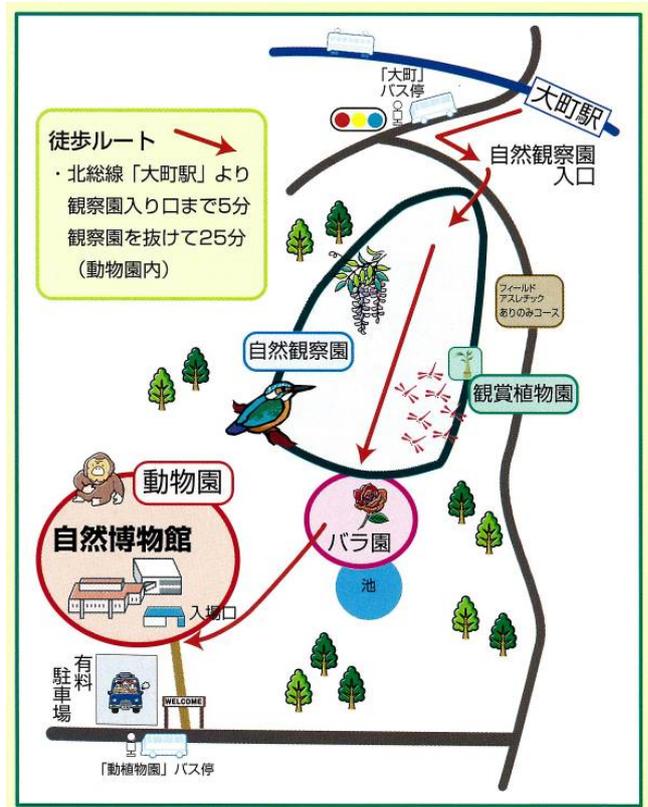
沿革

- 平成元年10月24日 開館
- 開館記念特別展「市川の植物」
- 平成2年度 企画展「大町自然観察園の自然」
- 平成3年1月10日 千葉県博物館原簿に登録
- 平成3年度 企画展「市川の鳥」
- 平成4年度 企画展「江戸川放水路の自然」
- 平成6年度 企画展「市川のさかな」
- 平成9年度 企画展「柏井雑木林の自然」
- 平成12年度 企画展「市川市内の絶滅危惧種」
- 平成15年度 企画展「長田谷津（大町自然観察園）」
- 平成18年度 企画展「いちかわの動植物 基本ブック」
- 平成21年度 企画展「長田谷津（大町公園自然観察園）いきもの暦」
- 平成24年度 企画展「いきものの成長」
- 平成27年度 企画展「いきものの体」
- 平成30年度 企画展「動物のなかまわけ」及び「堀之内地区一帯の土地利用の変遷とかつての自然景観」

施設

建物構造	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階、塔屋付
敷地面積	2,994.0㎡
建築面積	952.8㎡
延床面積	2,052.3㎡
〔主な施設〕	
常設展示室	459.2㎡
特別展示室	111.0㎡
収蔵庫	149.2㎡

博物館案内地図



交通案内

JR武蔵野線市川大野駅より、動植物園行き京成バスにて終点下車（土日休日のみ運行）、大町駅行き「駒形」下車徒歩15分（毎日運行）。

収蔵資料

市川市内の自然環境、動植物を主な対象として資料収集し、収蔵している。

種 目	品 目
標本資料	植 物 さく葉標本
	植 物 藻類さく葉標本
	鳥 類 剥製標本
	鳥 類 骨格標本
	鳥 類 古巢標本
	鳥 類 卵標本
	鳥 類 付随標本
	哺乳類 剥製標本
	哺乳類 骨格標本
	哺乳類 付随標本
	魚 類 液浸標本
	昆 虫 乾燥標本
	昆 虫 古巢標本
	昆 虫 付随標本
	貝 類 貝殻標本
	貝 類 液浸標本
	甲殻類 乾燥標本
	甲殻類 付随標本
	地 学 遺骸・化石標本
	地 学 土壤標本
地 学 岩石鉱物標本	
その他 人工物など	
映像資料	写真 デジタル画像
	写真 35 ^{ミリ} ポジ原版
	写真 6×7 ^{センチ} ポジ原版
	写真 35 ^{ミリ} ネガ原版
	写真 プリント
	映画 35 ^{ミリ}

常設展示

「市川の自然」をメインテーマとして、次の4つの大きなテーマで博物館資料を展示する。

また、実際に様々な生き物を飼育し展示するコーナーで展示を構成している。

○第1テーマ「市川のおいたち」

市川の大地のなりたちと人間の影響による自然の変化について紹介している。

- ・ひろがる市街地
- ・市川の大地

○第2テーマ「残された市川の自然」

都市化が進むなかで、残された林や干潟の自然について紹介している。

- ・市川の林
- ・市川の海辺

○第3テーマ「都市化した市川の自然」

都市化が進み、おおぜいの人々がくらす市街地でいきいきと生活する身近な生き物について紹介している。

- ・帰化植物
- ・都市鳥
- ・身近な昆虫

○第4テーマ「湧水の自然」

台地と低地からなる市川の地形によって生み出され、かつては市川のいたるところにあった湧水の自然について紹介している。

- ・湧水のある大町自然観察園

○飼育コーナー

身近な生き物など、年間を通じて種類を入れ替えて飼育し展示している。

教育普及活動

博物館外での活動として、隣接する大町公園自然観察園（長田谷津）や市内各地での自然体験学習を主催するほか、学校や市民団体などの自然体験学習を積極的に支援している。

行 事 名	内 容
おやこ自然観察会	親子を対象にした自然観察園での観察会
季節を感じる散策会	市内の自然豊かな場所を巡り季節の話題を観察
長田谷津散策会	自然観察園（長田谷津）の四季折々を楽しむ
野草名札付け	自然観察園で学芸員の指導により野草に名札をつけるボランティア活動
長田谷津環境整備	自然観察園で学芸員と共に環境整備作業を行うボランティア活動
学校や市民団体等への学芸員派遣	要請により学芸員を派遣する外部支援活動
少年自然の家でのグリーンスクールへの講師派遣	小学生の宿泊学習に伴う自然体験学習の支援
教員の研修受入れ	小中学校教員の研修支援

利 用

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館は4時まで）

- 休館日 毎週月曜日（ただし月曜日が休日の場合は翌日）及び年末年始

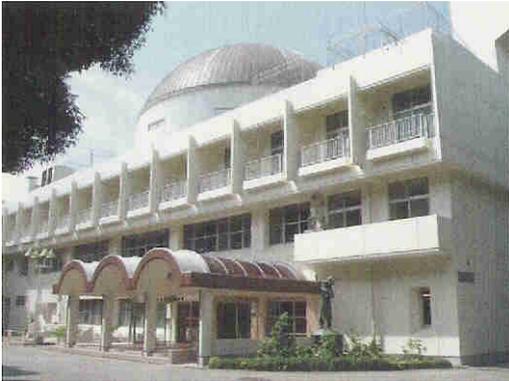
- 入館料 無料

- ・利用状況（令和元年度） 開館日数 274日
（コロナ感染症対策のため、2月27日より臨時休館）

	18歳未満	18歳以上	計
入館者	49,224	66,752	115,976
外部サービス利用者	4,208	791 (大学生等を含む)	4,999
合計	53,432	67,543	120,975

8. 市川市少年自然の家

〒272-0801 市川市大町 280-4
TEL 047-337-0533 FAX 047-337-0534



- 引率者用 2室 定員 10人
- ・研修室
 - 第1研修室 1室 定員 80人
 - 第2研修室 1室 定員 50人
 - 和室研修室 1室 定員 40人
- ・視聴覚室 1室 定員 50人
- ・プラネタリウム室 1室 定員 217人
- ・体育室 縦28m 横14m
- ・食堂 1室 最大204席
- ・その他

浴室、事務室、保健室他
付帯設備 集いの広場 2,475㎡
野外炊事場

特 色

市川市少年自然の家は、大町レクリエーションゾーン内にあり、動物園・観賞植物園・バラ園・自然観察園に隣接した、自然豊かなところに立地している。

設立主旨：児童・生徒を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活や野外活動を通じて、情操や社会性を豊かにするとともに、心身を鍛練し健全な児童・生徒の育成を図る。

設備：宿泊室・体育室・研修室・集いの広場（キャンプファイヤー場、野外炊事場、トイレ）プラネタリウム室

(2) 交通案内

- ・北総開発鉄道松飛台駅 徒歩 15分
- ・JR武蔵野線市川大野駅 徒歩 30分
- または、市川大野駅から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩5分・・・乗車時間 約10分
- ・JR総武線本八幡駅北口から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩5分・・・乗車時間 約35分

浴 草

- 昭和57年7月 開所
- 8月 プラネタリウム一般公開開始
- 昭和62年 5周年記念式典
- 昭和63年 野外活動倉庫建設
- 平成5年 10周年フェスティバル実施
- 18年9月 改修工事開始
- 19年7月 リニューアルオープン
- 23年4月 祝日開所開始

(3) 近隣地図



施 設

(1) 施設案内

- 敷地面積 10,513.00㎡
- 延床面積 3,730.79㎡（建築面積1,209㎡）
- 建築様式 鉄筋コンクリート造4階建て
- 建物内訳
 - ・宿泊室
 - 児童・生徒用 18室 定員180人
 - バリアフリー対応型 5室 定員20人

利 用

(1) 利用できる人

- ・少年及び少年を主たる構成員とする団体並びにこれらの引率者
- ・社会教育に係る学習、文化活動その他の生涯学習の諸活動を行うもので、教育委員会が認めるもの

(2) 宿泊利用に関わる経費 (H31. 4. 1 現在)

・ 宿泊施設使用料 (税抜)

市内の方	中学生以下	無料
	高校生以上	500 円
市外の方	高校生以下	2,250 円
	大学生以上	3,000 円

・ シーツ、枕カバー洗濯代 (税抜)

1 人 180 円

・ 食事代 (税込)

朝食・昼食 560 円～580 円

夕食 580 円～790 円

◎プラネタリウム投影

毎週土・日・祝日 (元旦除く) 午後 1:30 より

(7・8 月は毎週日曜日・祝日)

25 名以上の団体は、予約により受付

※投影時間は、約 1 時間

・ プラネタリウム見学科 (税抜)

	個人	団体
市内の方	150 円	120 円
市外の方	300 円	240 円

◎休所日

月曜日 (祝日の場合はその後の平日)

年末・年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

★利用状況 (令和元年度利用者)

開所日数 308 日

		区 分	団体数	人 数	
宿泊利用	市内	幼小中高・特別支援学校	54	3,892	
		青少年団体	35	1,172	
		その他	22	563	
	市外	学校・青少年団体他	12	455	
	小 計 A			123	6,082
プラネタリウム見学	有料	公開日	市内	0	827
			市外	0	1,080
	団体	市内	1	25	
		市外	0	0	
	無料	小中高・特別支援学校他	0	0	
		その他 (減免団体)	12	749	
		宿泊団体 D	58	3,612	
小 計 B			71	6,293	
日帰り利用	プラネタリウム見学なし C		14	2,076	
	プラネタリウム見学あり		13	749	
	小 計		27	2,825	
合 計 (A+B+C-D)			150	10,839	

★主催・共催事業 (令和元年度実績)

月	事 業 名
5	バラまつり
6	チャレンジャー・スクール①、プラネタリウムコンサート
7	ザ・チャレンジ! 自由研究、チャレンジャー・スクール②
8	
9	親子宿泊体験
10	
11	チャレンジャー・スクール③
12	
1	チャレンジャー・スクール④
2	親子冬の天体観望会①、親子で火を囲もう
3	親子冬の天体観望会② (中止)、竹細工工房 (中止)、チャレンジャー・スクール⑤ (中止)

※トイレ改修工事施工のため 10 月から宿泊利用者の受け入れを停止

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 2 月 28 日より臨時休所